

緩和ケア 市民公開講座

参加無料

定員 800名
どなたでも
ご参加いただけます。

日時 2018年
2月18日 日
13:00~15:30 (開場12:30)

会場 富山国際会議場
3階メインホール
富山市大手町1番2号

プログラム

第一部 緩和ケアについて

講演①「緩和ケアセンターの役割」
酒井 裕美
(富山県立中央病院 緩和ケアセンターGM/上席看護師長)

講演②「緩和ケア病棟の役割」
船木 康二郎
(富山市民病院 緩和ケア内科部長)

第二部 サバイバーの立場から

講演③「患者になり考えた緩和ケアの在り方」
樋口 麻衣子
(石川県立看護大学大学院 がん看護専門看護師コース/特任助手)

特別講演

鈴木 美穂

認定NPO法人マギーズ東京共同代表/
日本テレビ報道局記者(兼)キャスター

「がんになっても
自分らしく生きられる社会へ」

第三部 緩和ケア合同検討会議 —医師・医療従事者に求めるもの—

講演④「緩和ケア研修会・緩和ケア合同検討会議について」
梶浦 新也

パネルディスカッション

林 龍二(司会)、鈴木 美穂、樋口 麻衣子、酒井 裕美、梶浦 新也、船木 康二郎、村上 望



「私が、がんになるなんて!?!」
その日は、突然やってきます。病気がどう向き合うか。
自分らしく生きるためにはどうしたらいいのか。
がんの専門医師、がん体験者とともに考える公開講座です。



プログラム

13:00 開会あいさつ
林 龍二 (富山大学附属病院 臨床腫瘍部教授)

第一部 緩和ケアについて

座長 村上 望 (厚生連高岡病院 緩和ケアセンター長)

13:05 講演①「緩和ケアセンターの役割」
酒井 裕美 (富山県立中央病院 緩和ケアセンターGM/上席看護師長)

13:15 講演②「緩和ケア病棟の役割」
船木 康二郎 (富山市民病院 緩和ケア内科部長)

13:25 休憩(5分)

第二部 サバイバーの立場から

座長 梶浦 新也 (富山大学附属病院 集学的がん診療センター緩和ケア部門長)

13:30 講演③「患者になり考えた緩和ケアの在り方」
樋口 麻衣子 (石川県立看護大学大学院 がん看護専門看護師コース/特任助手)

13:40 特別講演「がんになっても自分らしく生きられる社会へ」
鈴木 美穂 (認定NPO法人マギーズ東京共同代表/日本テレビ報道局記者(兼)キャスター)

14:40 休憩(5分)

第三部 緩和ケア合同検討会議 ー医師・医療従事者に求めるものー

座長 林 龍二

14:45 講演④「緩和ケア研修会・緩和ケア合同検討会議について」
梶浦 新也

14:55 パネルディスカッション
林 龍二(司会)、鈴木 美穂、樋口 麻衣子、酒井 裕美、梶浦 新也、船木 康二郎、村上 望

15:25 閉会あいさつ
林 龍二

緩和ケア 市民公開講座

私が、がんになるなんて!?

参加方法

「緩和ケア市民公開講座」聴講希望と明記し、氏名(フリガナ)、連絡先、参加人数、「緩和ケア」についての質問をご記入の上、FAXまたはメールでお申込みください。なお、聴講券は発送いたしませんので、ご了承ください。(当日直接会場にお越しください)

※応募時の個人情報は本講座に関してのみ使用し、その他の目的には使用いたしません。

申込み先 (株)PCO内 「緩和ケア市民公開講座」係 FAX 076-428-9156 メール gan@pcojapan.jp
お問い合わせ/株式会社PCO TEL.076-428-9166

受講申込書

フリガナ		連絡先	()	参加人数	
氏名			—		人
「緩和ケア」についての質問					

当日のご参加も可能です。直接会場にお越しください。